

# かけがえのない阿蘇の自然を守るべき



■ダム予定地には、長い年月をかけてできた柱状節理が広がっています。

## 世界ジオパークに 自然破壊のダムはいらない

阿蘇地域は、その雄大な自然と景観により、重要な地質遺産に与えられる「世界ジオパーク」に認定されました。立野ダム建設予定地の立野峡谷も、溶岩が冷えてできた柱状節理が広がっており、ジオパークの見どころであるジオサイトに指定されています。しかし、ダム建設により、貴重な柱状節理や北向山原生林が破壊されてしまえば、4年に一度実施される審査でジオパーク認定が取り消されかねません。

阿蘇のかけがえのない大自然は大切な観光資源でもあります。

**県民1人あたり1万5千円、  
家族4人で6万円の負担**

立野ダムの総事業費は917億円。そのうち熊本県の負担は275億円です。県民一人あたりの負担は1万5千円、4人家族でなんと6万円もの高負担になります。

**百害あって一利なし！  
立野ダムは中止を！**

**穴が詰まれば  
治水機能はストップ**

ダムの下方には、直径5メートルの穴があり、その穴から洪水を少しずつ下流に流し調整するとの国の説明です。しかし、流木や岩石などにより穴が詰まれば、ダムは機能せず、かえって水害を拡大するおそれがあります。

**まともな検証を  
していない国交省**

国土交通省は、シミュレーションを流木に見立ててダムの模型に流し込む実験を行い、穴詰まりはないと結論付けています。

しかし、実際の流木と比べ、はるかに軽く、枝や根もついていないシミュレーションの結果では、その根拠になりません。

大西市長は「穴が詰まらないよう対策を取ると国から伺っている」と、国いいなりの無責任な答弁をしました。

## 抜本的にすすんだ河川改修

3年前の九州北部豪雨災害の後、国は激甚災害対策特別緊急事業（計画期間5年）で、堤防の整備や橋の架け替えなど河川改修をすすめています。

昨年3月国が公表した白川の流下能力算定表によると、改修がすすみ、目標としている洪水レベルにも対応できることが明らかになっています。河川改修事業が完了すれば、立野ダムの必要性はなくなります。

## 憲法違反の戦争法は廃止を！

日本共産党と市民連合が発議者となり「安全保障関連法に反対する意見書」を議会に提出しました。しかし、自民、公明などの反対で不採択となりました。憲法違反の戦争法（安保法制）に反対する国民世論が高まっています。憲法違反の戦争法はすみやかに廃止すべきです。

### 12月議会の主な議案や請願・意見書に対する各会派の賛否

	共産	自民	連合	公明	未来	創生	市政	教育	自由	善進	創世	和
消費税10%への増税中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
安保法制（戦争法）の廃止を求める意見書	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○
TPPに関する情報公開と国会審議の徹底を求める意見書	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○
くまもと森都心プラザ（図書館等）への指定管理者の指定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(○：賛成、●：反対)

困ったことのご相談は  
**日本共産党  
熊本市議団へ**  
TEL328-2656